

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	021	学校名	仙台市立岩切小学校	校長名	相澤 文典
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 テーマ「身近な環境について考えよう」



2 取組の紹介

○ 各学年の活動

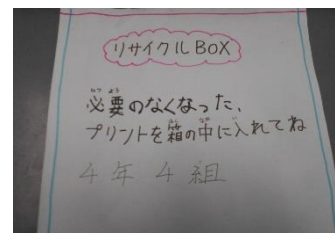
4年生は、社会の一環として、清掃工場・浄水場について学習をした。校外学習はかなわなかったが、自分の生活を振り返り、環境保全のためにできることについて考えることができた。

6年生では、理科で環境について学習し、学校生活でも節電や節水を心掛ける姿が見られた。

○ 環境・緑化委員会の活動

環境・緑化委員会で、花壇の整備、水やり、草取り、落ち葉集めなど校内緑化活動に取り組んだ。

古紙回収では、各クラスに「リサイクルボックス」を設置し、モノクロ、カラー紙に分ける分別回収を行った。また、リサイクル活動の取組を啓発する活動としてポスターを作成し、各クラスや校内に掲示する活動を行っている。資源を大切にすることについて考えるきっかけとなった。



○ 児童会の活動

児童会で計画した若竹まつりでは、各クラスの催し物をする際に、できるだけごみを出さないこと、廃棄する段ボールはガムテープをはがしてリサイクルに出すことなどを代表委員会で取り決め、全校で環境問題を意識して活動することができた。



○ ボランティア委員会の活動

ボランティア委員会では、花壇の周辺や校内廊下の清掃、昨年度回収したペットボトルキャップの仕分けを行った。仕分けしたキャップは、後日業者に搬入し、売却代金の一部がNPO法人のJVC(日本国際ボランティアセンター)に寄付された。

○ 学校全体での活動

花壇の水やり用に、天水桶に貯めた水を活用し、水道代の節約に役立てている。また、各教室にごみ箱を2つずつ設置し、可燃ごみとプラスチックごみを分別している。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

様々な活動を通して、ごみの分別や節電、節水、緑化など環境問題にも興味関心を持ち、児童が身近なこととして捉え、一人一人が取り組めるようにしている。また、委員会を中心としてエコ活動への取組を継続してきたことで、児童の資源を大切にしようとする意識が高まり、クラスで意欲的にリサイクルに取り組む児童も増えてきている。今後も全校児童が身近な環境やエコを意識して取り組むことができるよう活動を継続していきたい。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	22	学校名	仙台市立七郷小学校	校長名	目黒 悟
------	----	-----	-----------	-----	------

1 取組のタイトル, テーマ

私たちの町七郷の「環境まちづくり」に取り組もう。



2 取組の紹介

(1) 生活科や総合的な学習の時間での取組

2年生は、学年園で4種類の野菜を育て、生育を観察するとともに学校給食の食材として活用したり家庭に持ち帰ったりしました。また、明成高校さんや八木山動物公園の飼育員さんと連携しながら、「カボチャプロジェクト」に取り組みました。ゾウの糞で作ったたい肥を用いてカボチャを育て、ゾウにカボチャをプレゼントする活動をとおして、食物のサイクルについて学ぶことができました。



4年生は、「おらほの田んぼ」をテーマに、田植え、稲刈り、脱穀を体験しました。JA職員さんや地域の農家の方に教えていただきながら、農薬を使用しない栽培方法や水の管理の仕方、環境に配慮した視点での理解を深めました。また、七郷の復興への取組や地域の人の思いと、自分たちの稲作体験を結び付けて考えることができました。



6年生は、みやぎ環境ネットワークの方から「海洋ごみ」についてお話をいただいたり、実際に「海洋ごみ」を見せてもらったりしました。その結果、「海洋ごみ」の原因や対策への理解を深め、地域をはじめとした海全体の環境を守りたいという意識が高まりました。また、自分たちの住む七郷の町の未来を考え、環境に配慮した模型を作る姿が見られました。

(2) 緑化委員会の取組

「小さな種から大きな花へ」をテーマに活動しました。花を育てたいという意欲にあふれた児童が集まっています。5月と8月に夏花壇、冬花壇用の種まきをします。5月は、マリーゴールド、サルビア、ヒマワリなど9種類、8月は葉ボタン、パンジーなど8種類の種をまきました。2度の植え替えの後、花壇に植えるときの感激はひとしおです。小さな種が芽を出して、双葉、本葉、そして花を咲かせる過程を見ることによって、自然の力の大きさや花たちの生命力を感じることができました。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

学習前には、環境に興味を示さない児童もいましたが、取組の後には自ら七郷の自然や海的环境を守りたいという気持ちを表すようになりました。これからも、「自分にできることは何か」を考えて、実践する児童になってほしいと思います。



令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	24	学校名	仙台市立高砂小学校	校長名	早坂 敦哉
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取り組みのタイトルテーマ

みんなで高～「さ」支え合い ～「ご」こつこつと



2 取組の紹介

(1) 米作りと SDGs

5年生は、総合的な学習の時間の学習として、実際に米作りなどを行っている農家の方を講師にお招きして、米作りと大豆の栽培を行いました。また、実際に栽培する活動を生かしながら調べ学習を行い、SDGs と自分たちの暮らしなどについて学びました。

(2) まち大すき，生きもの大すき

1・2年生は生活科の学習として、梅田川の土手へ行き、植物を見たり虫を捕ったりしました。さらに、2年生は七北田川周辺も探検しました。コサギなどの動植物が生息する豊かな地域の自然に五感をとおして触れました。



(3) 緑のカーテンづくり



4年生は理科の学習としてヘチマ、緑化委員会が中心となってアサガオを育てて、それぞれ緑のカーテンをつくりました。更に今年は特別支援学級が育てたゴーヤのカーテンも加わりました。



(4) 堆肥「杜のめぐみ」の活用

市内の学校給食センターや単独調理校から排出される生ゴミや公園・街路樹の剪定枝葉を堆肥化した「杜のめぐみ」。学区内にある宮城野環境事業所から「杜のめぐみ」をいただき、年間約100袋を校内の花壇等に利用することによって、仙台市の生ゴミの減量・リサイクルに協力しています。

【2（3）の取組にも利用】

(5) 巻心を集めて緑の地球を守ろう

ニチバン巻心 ECO プロジェクトに継続して取り組んでいます。子どもたちが、お道具袋に入れて学習などに使っているセロハンテープの小さな巻心も、使い終わったら回収ボックスに入っていることが多くなりました。

3 取組の成果

学年に応じた各教科の学習等の積み重ねにより、自分たちの学区には梅田川と七北田川があり、更に海も近くにあるなど自然に恵まれていることが分かってきました。また、地域の自然環境に親しむことによって、それらを大切にしたい、守っていきたいという気持ちも育っています。地域の特性や環境を生かした緑化活動を続けているので、日陰の花壇（シェードガーデン）には、東京都では既に絶滅危惧Ⅱ類に指定されている「ハグロトンボ」が静かに息づく場所にもなっています。ハグロトンボの数は年々増えているようで、子どもたちの活動や学習の積み重ねが、生物多様性を守る一助にもなっています。



令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	26	学校名	仙台市立岡田小学校	校長名	熊谷 敬子
------	----	-----	-----------	-----	-------

- 1 「ハマヒルガオプロジェクト ～海浜植物の再生・復興をめざして～」
(4・5・6年 総合的な学習の時間)



2 取組の紹介

2011年の東日本大震災時に発生した大津波で仙台の海岸沿いが壊滅的な被害を受け、豊かな植生が失われてしまいました。本校では、被災後も奇跡的に残っていた「ハマヒルガオ」をはじめとする海浜植物を再生・保護する活動をしています。7年目を迎えた本活動は、今年度も高砂市民センターやNPO、企業、地域団体の協力を得ながら、計4回の活動を行いました。

- ①令和4年5月19日【岡田新浜の植栽地観察】
5年生と6年生での活動



- ②令和4年6月16日【苗の植え替え】
5年生と6年生での活動



- ③令和4年10月20日【海浜植物の植栽】
5年生と6年生での活動



- ④令和4年11月17日【種まき】
4年生と5年生での活動



活動①	5月	講話を聞き、活動の意義・植物の名前を学びました。
活動②	7月	昨年度から学校で育てていた苗をポットに植え替えました。
活動③	10月	ポットに植え替えた苗を岡田新浜に植栽しました。
活動④	11月	4・5年生が来年度の活動に向けて、種まきを行いました。発芽しやすくするために、ヤスリで削ってから植えました。

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

本活動も7年目になり、少しずつ岡田新浜に自然が戻りつつあります。2011年の災害にも負けなかった海浜植物の生命力と、それを保護しようとする人々の優しさに、子供たちは勇気と希望を与えられました。子供たちは、自分の住んでいる地域に改めて関心を持つとともに、震災との向き合い方も学ぶことができました。また、1年間を通して植物に触れるため、苗への愛着や活動への意欲を大いに高めることができました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	27	学校名	仙台市立東仙台小学校	校長名	阿部 謙
------	----	-----	------------	-----	------

1 取組のテーマ

環境を意識したエコスクール活動



2 取組の紹介

① ゴミの分別回収

各教室で、可燃ゴミとプラスチックゴミ、再利用できる古紙の3つに分別回収し、資源の再利用を心掛けています

② 古紙回収

各教室に古紙回収ボックスを設置し、それを環境委員会が回収して大ききごとに仕分けしてまとめ、ゴミ倉庫の古紙回収コーナーに置きます。その際、児童の個人名が記載されているものはマジックで塗りつぶすことで個人情報の保護にも配慮しています。



③ 委員会活動による「エコキャップ運動」と「牛乳パック回収」

ゴミとして焼却処分されるペットボトルキャップを回収することで、燃焼による二酸化炭素の発生を減らすことと、ポリオワクチンの代金や病気の研究への助成金にさせていただくことを目的に、環境委員会が全校児童に呼び掛けて取り組みました。第1回目は9月に行い 37.5kg 集まりました。

また、家庭から出る牛乳パックを資源化するべく、回収ボックスを設置しています。環境委員会が毎月、回収した数を確認して全校児童にお知らせしています。



3 取組の成果（成果○ 課題●）

- ゴミの分別・古紙の再利用などが児童の日常的な活動として、定着してきています。
- 児童のみならず、教職員もリサイクルを意識して活動しています。
- 各家庭の協力をいただく活動を行うことで、エコ・スクールの活動が少しずつ家庭や地域に浸透し始めています。
- 以前行っていた通学路のゴミ拾いをとおした地域をよりよくする活動をまだコロナのため行うことができなかったため、コロナが収束する、あるいはウィズコロナで行うことが可能な状況になりましたら、地域と連携して取り組んでいきたいと考えています。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	28	学校名	仙台市立東長町小学校	校長名	柴田 真理子
------	----	-----	------------	-----	--------

1 取組のタイトル、テーマ

「COOL CHOICE」の周知活動



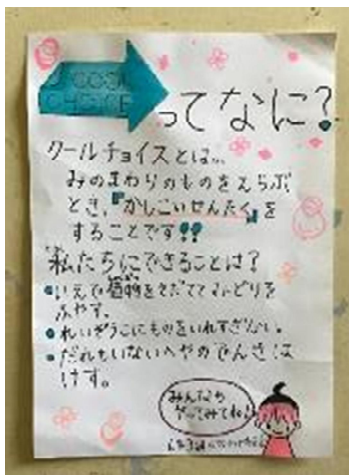
2 取組の紹介

東長町小のボランティア委員会では、地球温暖化の原因であるCO₂の排出を防ぐことを目的とした言葉「COOL CHOICE」を全校に広めようと活動しました。活動内容は以下のとおりです。



未来のために、
いま選ぼう。

- ① 「COOL CHOICE」という言葉の意味や具体的な取組を紹介するポスターの掲示
- ② 校内放送での全校児童への周知



3 取組の成果（児童生徒の変容）

周知活動を通じて、委員会の児童は「COOL CHOICE」という言葉を初めて知ったり、以前から知ってはいたが、より詳しく知ることができたり、また、委員会の児童にとっても「COOL CHOICE」を知る良い機会となりました。さらに、校内の数か所にポスターを掲示したことや、クイズ形式でポスターを作成したことで興味関心を持たせることができ、「COOL CHOICE」という言葉を徐々に広めることができた様子でした。今後も児童の学校生活に即した「COOL CHOICE」の取組について周知を図っていきたいと思います。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	29	学校名	仙台市立小松島小学校	校長名	福田 幸信
------	----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ
～豊かな自然づくりに向けての取組～



2 取組の紹介

本校ではより緑を身近に感じ、豊かな自然づくりに意識を向けることができるようになるために、以下のような活動を行いました。

○ 環境委員会による緑化の取組

委員会活動として季節ごとに花苗を植えました。植えた花の種類に興味を持ってもらえるように、花を紹介するポスターの掲示も行いました。



○ ごみの分別

各教室での可燃ごみとプラごみの分別を行い、資源の再利用を心掛けています。

○ 自然に触れる活動

4・5年生では、ヘチマによる緑のカーテンで理科の学習を行いました。ただ仕組みとして調べるだけでなく、どうすると枯れてしまうのか、緑を増やすには自分たちに何ができるかを考えながら学習しました。

2年生では、学級園で野菜を育てる活動を行いました。自分たちで植えたナスやキュウリが徐々に成長する様子をどこまで大きくなるかワクワクしながら観察していました。

○ 校外学習

4年生は、松森清掃工場へ校外学習に行き、ごみ処理の仕方・資源の再利用について学びました。工場に集められたごみの量に驚き、どのようにすれば出るゴミの量を削減できるか考えました。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

ごみの分別は継続して行っておりますが、「これは燃えるゴミだな」、「これはプラごみだ」と児童が自分で判断する様子が見られ、ごみの分別を行う習慣が定着していることが感じられます。

グリーンカーテンは校庭からよく見える場所にあるため、他の学年の児童も日に日に大きくなるヘチマに興味を持って観察し、時には変化を報告することもありました。来年度は、ヘチマから他の自然に興味を広げられるような活動も実施していきたいと思っております。



令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	30	学校名	仙台市立若林小学校	校長名	見田 佳代
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のテーマ

わたしたちの広瀬川を知ろう
きれいな学校で ありがとうを伝えよう



2 取組の紹介

【わたしたちの広瀬川を知ろう】



若林小学校のすぐそばには、杜の都仙台のシンボルとして親しまれている広瀬川が流れています。3年生では、「広瀬川を知ろう」（総合的な学習の時間）という学習に取り組みました。9月に、NPOカワラバンからゲストティーチャーをお招きして、体験学習を行いました。川で安全に活動する方法を学び、生き物探しをしました。また、ゲストティーチャーからスライドを使って広瀬川について教えていただき、興味を持った川の生き物については、更に観察をし、図鑑やクロームブックなどで調べてまとめました。

【きれいな学校で ありがとうを伝えよう】

環境委員会では、学校生活をサポートして下さるたくさんの皆さん（交通ボランティアさん・スクールサポートスタッフ・校医さん・小1サポーターさんなど）に感謝の気持ちを伝えようと、手書きメッセージ付きプランターに花を植え、皆さんが通る場所で大切に育てています。

また、今年度は、6年生の児童が、ボランティアとして進んで毎朝校庭の落ち葉掃きに取り組みました。きれいな学校で生活を送ることができ、皆が喜んでいました。



3 取組の成果

ゲストティーチャーの講話により地域の自然の良さを知り、自然に触れる体験を通して広瀬川のおもしろさやすばらしさを感じ取ることができました。自然を大切にしようとする心が育っています。

また、学校をきれいにすることをとおして、自分の住む町の環境や人のために自分たちにもできることがあると気付く機会となりました。